

乱

Ran

観賞日 2019・1・14

制作 1985年 日・仏
監督 黒澤明
脚本 黒澤明、小国英雄、井手雅人
音楽 武満徹
衣装 ワダ・エミ
出演 仲代達矢（一文字秀虎）、寺尾聰（太郎孝虎）、
根津甚八（次郎正虎）隆大介（三郎直虎）、
原田美枝子（楓の方）、狂阿弥（ピーター）



【あらすじ】

戦国時代。強引なやり方で一文字家を強国にした一文字秀虎は齢70歳になったのをしおに、三人の息子を前に隠居を宣言し、家督を長男の太郎に譲る。秀虎は弟の次郎、三郎に兄への協力を要求するが、父に反発した三郎は勘当を申し渡される。

秀虎は隠居後、大殿として息子の城を転々としながら余生を送る計画であったが、息子二人はもとより腹心にも裏切られついに発狂してしまう。

その後、秀虎の身を案じる丹後の献身で三郎との再会と和解を果たした秀虎であったが、次郎との兄弟間の戦いで死亡した三郎の姿を見て絶望し息を引き取る。

黒澤明が壮大なスケールで再現する「リア王」の世界。黒澤映画の集大成。

【解説】

■KUROSAWA リア王

- ・晩年の黒澤明が到達した世界

主人公の秀虎は黒澤本人を意識した人物像（旗印の「太陽と月」は「明」を二つに分解したもの）

黒澤の人生観、人間の愚かさ、無常

■内外の映画賞を受賞

- ・アカデミー賞（アメリカ）
衣装デザイン賞
- ・日本アカデミー最優秀賞
音楽賞、美術賞、録音賞

■見どころ

- ・壮大な戦闘シーン
撮り直しのきかない城の炎上シーン
地元の住民も協力した合戦シーン